

【別紙様式】

平成28年度 津山市立鶴山小学校

改善プラン「平成28年度全国及び岡山県学力・学習状況調査」今後の取組について進捗状況（年度末）

津山市 達成目標	これまでの取組やたしかめテスト等から 【平成29年度全科目で岡山県平均点を超える】見込み	○国語 AB とも全国や県の平均正答率を下回っている。 ・すべての領域について、課題があるがその中でも「書くこと」について大きな課題がある。 ○算数 AB とも全国や県の平均正答率を上回っている。 ・多くの文章から必要な情報を選択し課題を解決する力に課題がある。 ○無回答率がほぼ全問全国や県の無回答率を下回っており、意欲的に取組めている。	
	学校の取組・改善方法（課題に対する改善方法）	進捗状況	来年度へ向けて（具体的な達成目標・数値目標）
市全 体の 取組	問題データベースを活用し朝学習や放課後補充学習（パワーアップタイム）で基礎的基本的な力の定着を図る。	A	問題データベースを活用し、基礎基本の問題を中心に、3年以上の木曜日の放課後や朝学習に年間を通じて活用することができた。また、授業中にも本時の振り返り（適応問題等）でも活用している。来年度も全学年で国語や算数に限らず朝学習や放課後補充学習、授業中等で引き続き活用していく。
①	自分の考えを説明したり、解決方法を話し合ったりして他者との交流の時間を確保し話す聞く能力を高める。（アクティブラーニングの活用）	A	自分やグループの考えたり話し合ったりする時間を確保するように努めた。来年度も話すことや意見の交流等を授業の中で位置づけ、話す聞く力を伸ばして生きたい。そのために、来年度は研究の中心教科を国語科にし、早い段階での研究主任による定款公開授業を実施し、全体で鶴山小スタイルの確立に向けた取組をしたい。
②	適応問題や過去問題等でさまざまな問題に触れ、学習したことを正しく理解する。	A	問題データベース等を活用して全クラスで補充プリントを利用したり市販の学力テストを全学年で実施したりし定着を図った。また、4、5年生はたしかめテスト（A問題）を3月に再度実施した。全国学力調査に向けて来年度当初6年生にはB問題を実施する。
③	ノーメディアや家庭学習促進週間の取組の際には、児童の学習環境を整えたり、読書など家族そろっての取組の協力を依頼したりする。	A	今年度同様、中道中学校区小中連携のひとつとしてノーメディアや家庭学習促進週間の取組を実施し（低中学年は年3回、高学年は年5回）家庭学習の習慣化に向けた取組を行う。さらに、PTAとも連携しスマホに関する学習会も実施していく。

※進捗状況・「S：目標を大きく上回った（100%を超えている）」「A：目標を十分達成できた（85%以上100%未満）」「B：目標を概ね達成できた（70%以上85%未満）」
 「C：目標をある程度達成できた（50%以上70%未満）」「D：目標をあまり達成できなかった（30%以上50%未満）」「E：目標を達成できなかった（30%未満）」